

令和2年度 第1学年 社会科 年間指導計画 予定年間授業時数：105時間

使用教科書：【歴史分野】 帝国書院『中学生の歴史—日本の歩みと世界の動き』

【地理分野】 東京書籍『新編新しい社会—地理』

使用副教材：東京法令出版『グラフィックワイド 歴史』

教科の学習目標：

- ① 歴史的事象に対する関心を高め、具体的な歴史的事象の学習を通して歴史に対する興味や関心を高め、様々な資料を活用して多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。
- ② 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培う。

<学習内容>

学期	学習単元	学習内容
1	<p>【歴史分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時代の移り変わり時代区分</li> <li>・古代国家の成立と東アジア</li> </ul> <p>【地理分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の姿</li> <li>・世界各地の人々の生活と環境</li> </ul>	<p>【歴史分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史を学ぶ上で大切な時代の表しを学ぶ</li> <li>・日本に稲作が伝わり、ムラからクニが形成され、やがて中国にならった天皇中心の国づくりの過程を学ぶ。</li> </ul> <p>【地理分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界全体を地形・気候などの自然地理、衣食住などの人文地理について大観する。</li> </ul>
2	<p>【地理分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の様々な地域</li> </ul> <p>【歴史分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武家政権の成長と東アジア</li> </ul>	<p>【地理分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の諸地域の自然環境と文化、歴史を通じて諸地域の多様性や地域的特色を学ぶ。</li> </ul> <p>【歴史分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌倉幕府の成立によって、天皇・貴族に代わり武士が政治を動かすようになり、その後武力をもった武家政権が続いていく過程を学ぶ。</li> </ul>
3	<p>【地理分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の姿</li> </ul> <p>【歴史分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武家政権の展開と世界の動き</li> </ul>	<p>【地理分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の中で日本がどのような自然環境にあり、どのような場所に位置しているのかを大観する。</li> </ul> <p>【歴史分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパ諸国の海外進出が日本に与えた影響と日本の戦国時代から江戸幕府が成立し、その支配が続いていく過程を学ぶ。</li> </ul>

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと評価します。

観点 (全体に対する割合)	観点の趣旨	評価資料
観点1 (25%) 社会的事象への関心・意欲・態度	社会的事象への関心を持ち、自ら探求しようとする姿勢を持つ。 授業へ積極的に取り組み、意欲的に学習活動に参加する。	授業ノート 授業への取り組む姿勢
観点2 (25%) 社会的事象への思考・判断・表現	社会的事象に対する思考を深め、自ら判断し、自らの考えを様々な方法で表現できる。	定期テスト 授業中の取り組み内容 レポート課題の内容
観点3 (25%) 資料活用の表現・技能	教科書、資料集、ワークシートの表やグラフを読み取り、適切な内容を選択し活用できる。	定期テスト ノート、ワークシートの表現 授業中の取り組み内容
観点4 (25%) 社会的事象への知識・理解	社会的事象に関する基礎的・基本的な知識について理解し、それを活用できる。	定期テスト 小テスト